

令和5年度 予算編成、組織・職員定数の基本方針について

～地域課題に立ち向かい、ひととまちに寄り添い、豊かさと成長が両立する持続可能な未来への歩みを着実に進める予算～

1 背景 ～ 区を取り巻く状況 ～

- ✓ 景気は持ち直しの動きがみられるものの、原材料価格の上昇等による下振れリスクに十分注意する必要がある（月例経済報告（令和4年6月））
- ✓ 経済財政運営においては、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の下、適切な実行を図るとともに、構造変化を牽引しつつ、「成長と分配の好循環」を拡大していく必要がある（骨太方針2022）
- ✓ 物価上昇や円安進行などによる景気の下振れリスクには十分留意する必要があり、加えて、燃料費・光熱水費などの経常的経費の高騰が予想されるなど、引き続き厳しい財源の確保が迫られる

2 財政運営の基本的な考え方

- ✓ 一般財源の大幅な増収は見込まれない状況において、歳出に対し、歳入が不足する厳しい財政環境が継続
- 約152億円の財源不足（見込）
(単位：億円)

区分	R4年度 当初予算	R5年度 見通し
歳入合計(A)	3,009	2,919
歳出合計(B)	3,009	3,070
財源不足額(A)-(B)	0	△ 152

- ✓ 令和4年度予算編成では、半数を超える事業で経費縮減を図り、新たな取り組み等に振り向けた
- ✓ 感染症対策、物価高騰等に苦しむ区民生活・区内経済を支える取組に加えて、新おおた重点プログラムに描いた未来のビジョンの実現に向けた取組が必要

- ☞ 新たな歳入確保を進めるとともに、**エビデンスに基づく政策立案（EBPM）**の考え方をもとに、**事務事業の成果向上とコスト精査**により経営資源を生み出し、**歳入・歳出両面から収支均衡**をめざし、中長期的に安定した行政サービスを提供
- ☞ 基金や特別区債の効果的な活用といった**財政対応力を発揮し、未来志向の戦略的な投資**を着実に進める

3 予算編成の基本方針 ～ 令和5年度予算の重点課題 ～

- ✓ **事務事業の成果向上とコスト精査**を通じ財政の質を高めつつ、健全性を維持し、既存施策の延長線にとどまらず**区の成長を高める実行力ある施策の構築**に向け、**大胆な発想で施策の新陳代謝に積極果敢に取り組む**ことを基本として編成する
- ✓ 次の3つの重点課題に特に優先的に取り組む

- ① 感染症をはじめエネルギー問題や自然災害など危機に直面する区民生活を**支え、地域の強靱化により安全・安心を確保する取組**
- ② **安心して子どもを産み育て、学びやすい環境づくりを進め、誰もがライフステージに応じて活躍し、成長を支える包摂的な地域づくりに向けた取組**
- ③ **デジタル技術の活用やSDGs、脱炭素を意識し、地域経済の持続的な発展と快適で魅力ある都市機能の向上により都市間競争に打ち克つ取組**

4 組織・職員定数の基本方針

次の4つを基本方針とする

- ① 簡素で効率的な組織整備 → 効果的な施策展開を図る体制づくり
- ② 既存事業の総量抑制と外郭団体等の人員活用 → 効率的な事業執行と組織人員の見直し
- ③ 「大田区職員定数基本計画（令和4年度～令和5年度）」に基づく最適な人員配置
- ④ 再任用職員及び会計年度任用職員の活用 → 知識・経験・能力等の組織的継承及び活用

職員全員が「**持続可能な自治体経営に向けた取組方針**」を意識し、『**地域課題に立ち向かい、ひととまちに寄り添い、豊かさと成長が両立する持続可能な未来への歩みを着実に進める予算**』と**簡素で効率的な組織整備・最適な人員配置**に向け、全力で取り組む